



会員の皆さまへ

経済学部同窓会長 住野 公一



皆様こんにちは。経済学部も70周年を超え、我が同窓会も新たな気持ちでやって参りたいと思います。同窓会幹事会ではどういう事をやっていけば同窓会の皆様に喜んで頂けるか、在校生の皆様に喜んで頂けるか、学校の発展に寄与できるか、を考えて活動しております。

私はこの活動の底に年代は違えども同じ学舎で学んだ仲間だという心のつながりが大切だと思っています。皆様には家庭に仕事に忙しい毎日を送っている事と思います。卒業して何年も経つ母校の事など思い出す心の余裕もないかと思っています。

しかし、例えば大学駅伝に母校の学生さんが出場したり、アメリカンフットボールの出場したりした時には、自分の学生時代や母校の事を思い出したりします。経済学部同窓会では毎年総会や講演会を開催して同窓生が顔を合わせる場を作っています。卒業年が違っていると、いや同じ学年でも顔を知らない、「人が多くて出てもさみしい思いをするだけ」、と出席に尻ごみする人もお有りかと思いますが大丈夫です。10分で知らない人ともうちとけて話ができるようになります。

また、同窓会の活動にもぜひご意見を言って頂きたいと思います。

皆様どうか引き続き同窓会活動へのご参加・ご支援をお願いしたいと思います。

学部長からの挨拶

経済学部長 河音 琢郎



新年度を迎えるにあたり、同窓会会員の皆様におかれましては日頃より経済学部に暖かいご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

一昨年度の経済学部創立70周年の節目を経て、さらに2019年度は全学校友会創立100周年を迎えました。昨年10月のオール立命館校友大会では多くの同窓会の皆さまとお目にかかる機会を得て、皆さまのお元気に活躍されている姿を直接目にし、本当に頼もしい思いを強くいたしました。同日に開催された(株)クロスエフェクトCEOの竹田正俊氏による、経済学部同窓会企画も大変好評で、翌日に開催されたSDGsをテーマとした工場見学企画など、経済学部同窓会のますますの多彩で活発な取り組みに大いに啓発されているところです。

また、経済学部同窓会の多大なご支援を得て、毎年1月初旬の2日間にわたって約130名の同窓生の皆さんに講師としてお集まりいただいています。この経済学部生のキャリア形成企画として取り組んでおります就職活動応援企画、通称"メントレ"もすでに7年目を迎え、経済学部の看板企画として定着しています。

こうした若い世代をも巻き込んだ社会的ネットワークとして、経済学部同窓会の活発で好循環的な存在感に対して、さらには私も教職員や学生との密接なネットワークを形成いただいている点について大変頼もしく思っている次第です。

本年度も引き続きご厚情を賜りますようお願い申し上げます。年度替わりの挨拶といたします。

立命館大学経済学部同窓会事務局

〒525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1 立命館大学経済学部事務室内
TEL:077-561-3940 FAX:077-561-3947
E-mail:ecalumni@st.ritsume.ac.jp
同窓会 HP : <http://r-ecalumni.com/>



校友会 100 周年記念 経済学部同窓会講演会を開催！

2019年10月19日（土）に株式会社クロスエフェクト代表取締役の竹田正俊氏（'96 経済学部卒）を講師としてお招きし、「ボーダーを超えて挑戦！ 京都から世界へ——3D 臓器モデルが変える未来の診断」と題した講演会企画を開催しました。

竹田氏は、2000年に企業の試作品や開発に携わるベンチャー企業であるクロスエフェクトを創業。その質の高さが心臓外科医の目に止まり、医師たちの要望に応じて先天性心疾患を抱える新生児の手術治療のシミュレーションに不可欠な3D心臓を制作。経済産業省のグッドデザイン賞、モノづくり日本大賞、内閣総理大臣賞など数々の賞を受賞されてきました。

竹田氏は、社会に対する使命（ミッション）を貫くことで初めて経営は成り立つこと、クロスエフェクトのミッションは「どこよりも速く」試作品や3D臓器を提供することであり、この経営理念から、将来のあるべき姿から現在を考えるタイムマネジメントの思考の重要性を強調されました。

会場からは、さまざまな質問が相次ぎ、竹田氏との意義深いディスカッションが展開されました。また、会場には制作された3D心臓の現物が展示され、3D心臓のリアルさと技術の高さを肌身で感じる貴重な機会をもつことができました。



校友会 100 周年記念 経済学部同窓会企画を開催！

校友会 100周年を記念し、2019年10月20日（日）に、「持続可能な開発目標（SDGs）」をテーマに”サントリー 京都ブルワリー工場へのバスツアー”企画を開催しました。

経済学部 OG でもある佐野聖香准教授より、SDGsに関するレクチャーをいただき、参加者にとって企業や大学でのSDGsの取り組みについて考えを深めていただく機会となりました。工場見学では、ビールの仕込み、発酵、貯酒、ろ過、パッケージングの一連の製造工程を見学するとともに、「ザ・プレミアム・モルツ」の原料にもなる「天然水」を守る環境活動について学習しました。当日は幅広い年代の経済学部同窓生が交流し、盛況のうちに終了しました。今後の同窓生同士の交流を促進するよい機会になりました。



2019年度 経済学部就職活動応援企画「メントレ」を支援！

2020年1月11日（土）、12日（日）に経済学部就職活動応援企画「メントレ」が開催されました。本企画は、「なぜ学ぶのかを考えることは、自分を考えることであり、それはなぜ働くのかにつながる」をコンセプトに、経済学部同窓会の支援のもとに実施している学部独自の就職支援イベントで7回目の開催となります。今年も本格的な就職活動を目前に控えた3回生を対象に、経済学部同窓生が2日間にわたって模擬面接やエントリーシートの作成の指導を行いました。同窓生約130名、在学生約190名が参加し、多くの同窓生と在学生が厳しくも暖かく交流する機会になりました。



ゼミ同窓会、各地で開催中！

事務局に寄せられたゼミ同窓会のご報告の中から、一部をご紹介します。

濱崎ゼミ「先生を囲む集い」

濱崎正規先生鳩寿（卒寿）を祝い、以学館「ゼミ記念植樹・桜」を愛でる！

2018年12月にゼミ有志が集まり、京都嵐山にて濱崎先生の鳩寿を祝い、2019年4月には以学館前の昭和53年経済学部濱崎ゼミナール卒業記念植樹「ソメイヨシノ」を愛でる会を開催しました。紅葉が彩る嵐山では、当時と変わらず熱意溢れる先生の鳩寿をお祝いし、先生からは色紙に「生命」「以心伝心」のお言葉を頂戴し楽しくも身の引き締まる集いとなりました。また、春爛漫の衣笠学舎・以学館前では、ちょうど満開に咲き誇る記念桜を愛でながら、40年前の思い出を語り合う感慨深いひと時を過ごしました。濱崎ゼミの皆さん、先生は当時と変わらない力強いお声で「イノベーション」をご教授、90才お元気です。

（1966年卒大久保貢、1978年卒大田嘉仁、1979年卒高橋祥二郎、1979年卒小林昌人）



紀國ゼミ同窓会

当日は在校生、卒業生ともに活発な交流ができ、大いに盛り上がりました。

特に在校生は学部のゼミナール大会に向けた論文作成が佳境に入っており、卒業生からアドバイスをもらったり、過去の苦労話を聞いたりと有意義な時間だったのではないかと感じました。また、来年の就職活動に向けた不安や質問なども話題として挙がっていました。

年1回の開催ではありますが、ゼミの縦の繋がりの強さを感じます。今後ともこれをゼミの伝統として継続できることを期待します。（2016年卒早川和樹）



2019年度島田ゼミ同窓会

2019年12月4日(土)に、島田ゼミOBOG同窓会が開催されました。当日は経済および理工(文理総合インス)の卒業生と、在学生合わせて33名が出席しました。

在学生からはゼミナール大会で報告された研究発表、卒業生からは近況報告があり、卒業生が勤務する業種ごとに分かれたテーブルでは、在学生が就職活動の相談をする場面も見受けられました。在学生が食べ物・飲み物の買い出しから準備をする手作りの同窓会で、卒業生も在学生も良い時間を過ごすことができました。ぜひ今後も継続することができればと思います。

(2005年卒吉川直樹)



経済学部より

【新任教員】(職位・50音順)

2020年4月より経済学部以下に以下の専任教員をお迎えします。

氏名	主な担当予定科目
新形 敦 教授	国際金融論
吉岡 真史 教授	日本経済論
大塩 量平 准教授	西洋経済史
小田巻友子 准教授	社会政策
木原 彩夏 准教授	商法・会社法
須佐 大樹 准教授	公共経済学

【退職教員】(職位・50音順)

2020年3月末をもって以下の教員が退職されました。

氏名	専門分野
佐藤 卓利 教授	社会政策
杉田 伸樹 教授	日本経済論
山井 敏章 教授	西洋経済史
山本 信一 教授	保険経済論
古川 彰 特任教授	日本経済論

佐藤先生、杉田先生、山井先生は、2020年4月より特任教授として在職されます。

同窓会事務局より

【お知らせ】

※本誌は皆様の掲示板でもあります。各ゼミ同窓会や個人の近況・情報等、どのような内容でも結構です。事務局までお寄せいただければ、掲載させていただきます。
※同窓会に対するご質問・ご希望がございましたら事務局までご連絡ください。

【『学生時代の思い出』を募集します!!】

皆様の学生時代の思い出や近況報告等を執筆いただき掲載する、『学生時代の思い出』を募集しております。これは、「原稿執筆者それぞれの学生時代の思い出を振り返ることにより、その時代時代の社会情勢や風潮、大学や経済学部を取り巻く環境、学生像などを顧みること」を目的に出版された『50周年の思い出』の続編にあたるもので、広く経済学部同窓生の皆様より原稿を募集したいと考えております。掲載ご希望の方は以下の要領にて事務局までお送りください。

- ① 原稿(学生時代の思い出や近況報告等、2,000字程度)
- ② 経歴(生年月日、卒業年、勤務先等、可能な範囲で結構です)
- ③ 写真(可能でしたら、学生時代と現在の2枚をお送りください。使用後、返却させていただきます)

頂戴いたしました原稿は、経済学部同窓会HPにも掲載させていただきます。

同窓会費の納入方法について

同窓会は、皆様から納入された終身会費(¥10,000)で運営しています。入会を希望され、会費をまだ納入されていらっしゃらない方は、同窓会事務局までご連絡ください。

住所変更された方は……

会報の送付先の変更は、立命館大学校友会(TEL: 0120-252-094、FAX: 0120-252-095)までご連絡ください。同時に校友会誌「りつめい」の送付先変更もさせていただきます。

立命館大学経済学部同窓会事務局

〒525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1

立命館大学経済学部事務室内

TEL:077-561-3940 FAX:077-561-3947

E-mail:ecalumni@st.ritsumeai.ac.jp

同窓会HP: <http://r-ecalumni.com/>